

朋友

For You

10月号

沖縄セントラル病院 広報誌

2019年10月発行 Vol.41



医療法人 寿仁会

沖縄セントラル病院

〒902-0076

沖縄県那覇市与儀1-26-6

TEL.098-854-5511 FAX.098-854-5519

URL <http://www.jyujinkai.or.jp/> E-Mail o-centh1@nirai.ne.jp

ユートピア沖縄・クリニック絆

〒902-0076

沖縄県那覇市寄宮2-1-18

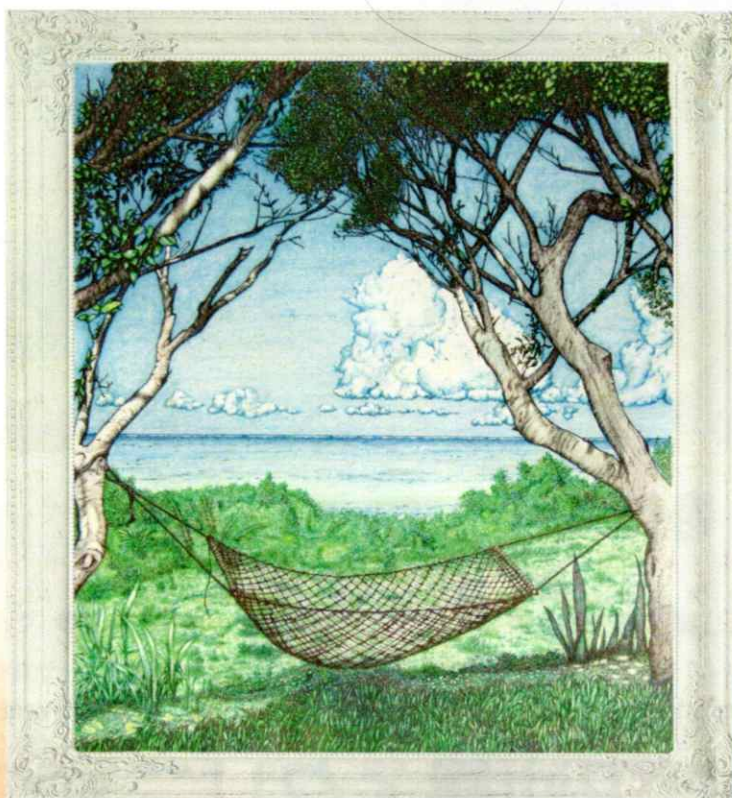
TEL.098-854-5551(代表) FAX.098-854-5519(代表) TEL.098-854-5531(絆)

URL <http://www.utoopia.jyujinkai.or.jp/> E-Mail o-centh1@nirai.ne.jp

Contents

❖ 看護部紹介	沖縄セントラル病院 総看護部長 宮城 克子		1
❖ 就任挨拶	・ 高度医療と手作り感の融合する地域に愛される医療機関をめざして 沖縄セントラル病院 総務部長・事務長代行 名嘉 正光		2
❖ 医療安全・感染対策勉強会報告			3
❖ 部署のご紹介			
・ 1階看護部（外来診療） （ <i>Department of 1F Nursing Outpatient treatment</i> ）			4
・ 2階看護部（一般病棟） （ <i>Department of 2F Nursing General ward</i> ）			6
・ 3階看護部（療養病棟） （ <i>Department of 3F Nursing Medical ward</i> ）			8
・ 4階看護部（回復期リハビリテーション病棟） （ <i>Department of 4F Nursing Convalescent rehabilitation ward</i> ）			10
❖ ユートピア沖縄便り			
・ クリニック絆 （ <i>Clinic KIZUNA</i> ）			12
・ 台北 医学部実習生 施設見学			13

※ 表紙の花：ゴールデンシャワー 撮影者：沖縄セントラル病院 メディカルフィットネスセンター長 金城 友一



～ 作：Naoki Nagashima ～

看護部紹介



沖縄セントラル病院
総看護部長 宮城 克子

病院の基本理念である”ひらすら病める人々のために”のもと、私たち看護部は、患者様やご家族に満足して頂ける最良のケアが提供できるよう、多職種と連携しながら医療チームの一員として、常に学び専門職として自己研鑽に努めております。

当院に入院されている患者様のほとんどが高齢の方々です。その高齢の患者様を大事に、温かく、優しさを持ってケアができるよう、自己の感性を磨くことも忘れず、日々努力しております。

お互いを認め合い尊重し合える職場風土、協調性を持ってお互いさまの心で助け合う職場、そんな職場を目指しております。

看護部の理念

1. 地域の人々の、疾病の予防と健康増進のために、健診から在宅看護まで一貫した看護活動を通して地域に貢献します
2. 患者様の身体的・精神的・社会的ニーズにお応えし、きめ細やかな看護・介護の実践を目指します
3. 患者様の人権を尊重し、質の高い看護・介護を提供するために看護研修や研究を継続します

看護部方針

1. 信頼に基づいたチーム医療を提供する
2. 役割能力を発揮し、皆が働きやすい職場環境を実現する
3. 教育体制を充実しキャリアアップを図る

2019年度 看護部目標

1. 感染拡大防止
 - 1) 標準予防策の遵守
 - 2) 環境整備の徹底
 - 3) マニュアルを遵守し、二次感染を防止する
2. 安全・安心な療養環境の整備
 - 1) インシデントの再発防止に取り組む
 - 2) 転倒・転落防止策への取り組み強化
3. 院内教育の充実
 - 1) 現任教育の強化
 - 2) 自己研鑽できる環境の整備
4. 働きやすい職場環境の整備
 - 1) コミュニケーションを大切に思いやりのある職場風土づくり
 - 2) 多職種が連携したチーム医療の推進

就任挨拶



沖縄セントラル病院

総務部長・事務長代行 名嘉 正光

～ ハイクラスの方をお迎えすることが出来ました ～

高度医療と手作り感の融合する地域に愛される医療機関をめざして



東京理科大学卒業、北里大学衛生学部臨床化学教室研究生修了。

㈱エスアールエル入社、病院の臨床検査部の運営・再構築、ISO15189整備に携わる。友愛会豊見城中央病院、那覇市医師会、琉球大学医学部再生医療研究センターを経て現在に至る。浦添看護学校看護学科の非常勤講師を務め看護学生の指導を歴任。

資格：臨床検査技師、鍼灸師、沖縄県糖尿病療養指導士

令和元年7月1日に総務に着任した名嘉正光です。

私は医療技術分野に長く従事し、医療機関をはじめ、研究機関、衛生検査所等の勤務の傍ら行政、企業、教育機関等で、主に組織体制、法的整備要件の関わりを持ってきました。これらの経験を活かせるべく当院を選択し、理事長承諾を得て就任の運びとなりました。どうぞ、宜しくお願い致します。

さて、ご存知のように医療機関は日々の業務に関する法的な規制や決まりごとが多く、県や保健所をはじめとする立ち入り調査や厚生局等、国の調査や監査等で職員の皆様には少々窮屈な思いをさせていることと思います。では、いったい、なぜこのような調査や監査があるのでしょうか？

先ず、一つ目は、医療機関が人の命を預かり病める人々が健康を取り戻して元気になっていただくための医療を施す施設であり、安心・安全な医療提供がなされている施設基準を確認するためです。

二つ目は、医療法をはじめとして、医師法、保助看法、臨床検査技師法、診療放射線技師法、理学療法士法等、多くの医療職の法律により業務や職務が細かく定められ、医療従事者でなければ、医療の施しや従事してはならない規則があるからです。

三つ目は、診療報酬算定制度により、診療内容や業務内容が細かく点数化され、それが技術料として客観的に評価されるからです。（これが医業収入となります）

つまり、正しい診療を行い、正しい治療、正しい看護体制、正確な検査、理学的療法等を行う代償として診療報酬算定が行われ、医業収入として病院経営に反映されるからです。

誰もが入社当時は、夢と希望に胸膨らみ、緊張感で真剣に患者様のお世話をしたいと思っていたはずですが。地域の企業や病院等は、地域に密着し地域に受入れられ、地域住民に還元できてこそ存在意義があるのだと私は思っています。沖縄セントラル病院の理念「病める人々のために、さらなる健康増進のために、集いし職員の生涯の修養の館たらんことを」を反芻し、全職員が理念・行動指針のベクトル方向性を定めていけば沖縄セントラル病院は素晴らしい病院に成長していきます。医療技術の向上は個人的な技術研鑽は避けて通れません。各人の医療技術を高め、チーム医療の質を高め、日々の医療に従事すれば、質は担保され、品性のある、病院のめざす方向性がゆるぎない屋台骨となるのです。全職員が方向性を定めた舵取りを実践していくことが我々職員の最大の職務なのです。

私は、皆様と手を携え地域医療に密着した地域に還元できる医療に携わりたいと願っております。

どうぞ、宜しくお願い致します。

～医療安全・感染対策勉強会報告～

沖縄セントラル病院 2階病棟 看護師 蔭山 美成

当院副院長の長島直樹医師を講師として、医療安全勉強会（7月24日）、感染対策勉強会（9月4日）が開催されました。



医療安全勉強会 ～「リハビリテーション病棟におけるリスクマネジメント」～

回復期リハビリテーション病棟における医療安全上の問題一位は転倒です。

入院時において転倒転落は、患者様側の要因が多い傾向にあり防止する難しさがあります。

転倒転落防止が難しい理由

事故内容 点滴、薬の与薬、検査、処置

要因 手順の欠如

対策 業務手順の改善

事故内容 転倒転落

要因 認知力低下・夜間不穏

対策 個別性に合わせたもの

私達職員は、この難題に対し、患者様の転倒リスクを系統立って対策していく必要性を再確認できました。

また、過去のインシデントレポートは宝とし、当院における患者傾向を明らかにしながら、様々な思考ツールを利用し対策に努めていきます。

感染対策勉強会 ～「感染症ってなんだろう？」～

見えない病原体を心の目、確かな根拠をもって感染対策を行えるかが感染の拡大を防ぎます。

存在する常在菌すべてにおびえるのではなく、**感染症成立の3要素**を認識する事が大切です。

感染症成立の3要素

感染源 感染症患者 汚染された医療器具

感染経路 空気感染 飛沫感染 接触感染

感受性宿主 栄養状態の悪い、体力のない患者、免疫機能が低下した患者

医療者は手洗い、手袋、マスクの使い方、**外し方一つで感染を拡大**させてしまう危険があります。また、適切な手技、知識を持って感染の拡大を防ぎ、予防できます。

当院では感染委員会によるラウンドによって、院内の感染管理が行われています。

感染予防の物品が正しい位置におかれ、使用されているか、面会者に対しても適切な指導が行う必要がある事を全職員で共有する機会となりました。

Department of 1F Nursing Outpatient treatment 1階看護部(外来診療)



基本方針

- 1) 地域の人々の疾病予防と健康増進のために、個々のニーズに応じたケアを把握し、生活が円滑に送れるように一貫した看護活動を通して地域社会へ貢献する。
- 2) 他職種とのコミュニケーションを大切にし、連携したチーム医療の推進を行う。

業務概要

一般診療科目・専門診療科目について

当院は、下記のような診療科目があります。現在は、7名のスタッフにて業務を行っていますが、業務範囲は幅広く、連携する部署也多岐にわたります。

【一般診療科目】

- | | | | | |
|--------|-------|-------|-----|--------|
| ・脳神経外科 | ・一般内科 | ・心療内科 | ・外科 | ・循環器内科 |
| ・整形外科 | ・皮膚科 | ・歯科 | | |

【専門診療科目】

- | | | |
|----------------|------------------|-----------|
| ・ガンマナイフセンター | ・高気圧酸素治療センター | ・乳腺・甲状腺外来 |
| ・リハビリテーションセンター | ・メディカルフィットネスセンター | ・禁煙外来 |

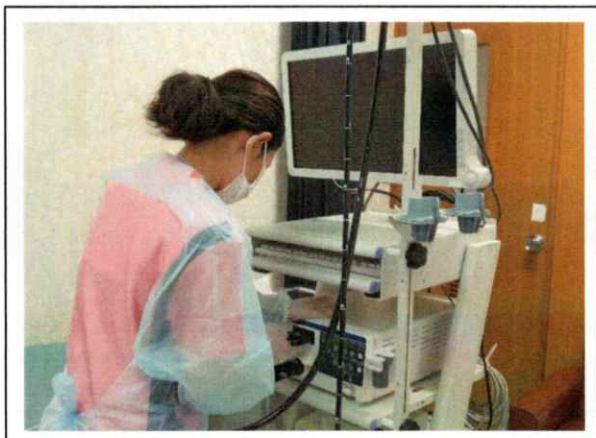
外来看護師の役割について

ところで皆さん、「外来」って診察の介助に付くだけの簡単な仕事と思っていませんか？
しかし、外来には実に深い役割があるのです！

まず外来は、病院の「顔」とも言われている程、存在は大きなものです。

短時間の関わりの中で、五感を働かせ、全身状態を把握し、素早くて確実にアセスメントすることが最も重要となります。その為には、専門職としての知識・スキルが求められ、また、臨機応変に対応出来る能力やチームワークが必要です。もちろん、患者様と医師との間に立ち、診療が円滑に進むよう配慮することも大切です。

地域のかかりつけ医として、丁寧でわかりやすい、身近で親しみやすい安心の医療が提供できるようスタッフは今日も走り回り、努力しているのです。



沖縄セントラル病院
看護部 外来 主任
高嶺 里夏

外来は、いつでもオープンしてます((´▽`))
皆さんの日々の健康管理のために血圧・体重チェックを行いに
寄ってくださ～い！

Department of 2F Nursing General ward 2階看護部(一般病棟)



病棟目標

今年度からは、2014年の診療報酬改定より推進されている「地域包括ケアシステム」を導入しています。急性期病院・在宅・院内他病床の多方向から受け入れる「地域包括ケア病棟」として、地域に根ざした医療に貢献していけるよう日々業務に取り組み、スタッフ一人一人が充実した看護を提供できるよう励んでいます。

業務概要

2階病棟は病床数23床の一般病棟です

2階病棟は、病床数23床の一般病棟です。

主な診療科は内科、整形外科、脳外科、外科で、亜急性期の患者様の治療や看護を行っています。

外来や他病棟からの患者受け入れはもちろん、同法人の高齢者複合介護施設ユートピア沖縄の利用者様の入院受け入れなど、地域との連携も図っています。

働きやすい職場です

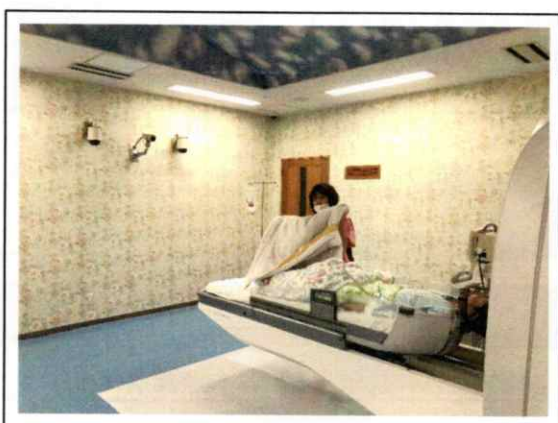
就業時間内に業務を終えるため、看護スタッフの負担が比較的少ないことも大きな魅力です。その分心にゆとりができ、患者様へのきめ細やかな対応にもつながっていると感じます。実際に「急性期病院とは違い、落ち着いた雰囲気でご過ごしやすい」「看護師が丁寧に話を聞いてくれる」といったご意見もいただき、スタッフのモチベーションにもつながっています。



ガンマナイフ治療の患者様は私たちが担当致します

沖縄県唯一のガンマナイフ治療にも携わっておりガンマナイフ治療における周手術期の看護も行っています。ガンマナイフ治療とは、開頭せず外からガンマ線を一転に集中照射することで脳の中の病変を治療する定位放射線治療です。

フレーム装着時には若干痛みを伴いますが、鎮痛剤で調整でき、短期間で退院される患者様がほとんどです。



沖縄セントラル病院
看護部 2階病棟 主任
安里 斉樹

今後は、2014年の診療報酬改定より推進されている「地域包括ケアシステム」を導入し、「地域包括ケア病棟」として貢献していけるよう日々業務に取り組み、スタッフ一人一人が充実した看護を提供できるよう励んで参ります。

Department of 3F Nursing Medical ward 3階看護部(療養病棟)



病棟目標

- 安全な療養環境を整備し、医療事故の防止に努めます
- 療養環境や職場環境の整備に向け、5S活動を徹底します
- 患者様の清潔保持に努めます

業務概要

3階病棟は病床数57床の療養病棟です

3階病棟は、病床数57床の療養病棟です。

患者様が安全に安楽に病棟生活を送れるように、バイタル測定、吸引、経管栄養準備、食事介助、オムツ交換、体位変換、入浴介助等、日々の見守りを行います。



主に医療度の高い慢性期の患者様を担当しています

経口摂取の患者様は殆どおらず、経管栄養摂取の方が大半を占め、脳血管疾患後遺症の方、人工呼吸器装着中や気管切開されている医療度の高い患者様に長期療養生活を送っていただいております。

長期療養生活を快適に過ごして頂く為にも、当病棟では人工呼吸器装着中の患者様でも入浴支援を行い、病棟全体で皮膚トラブル防止のため清潔保持に努めています。



患者様に寄り添い合った看護・介護を・・・

今後も、自ら意思を訴える事が難しい患者様のわずかな目の動きや些細な動作に気づき、少しの発語を汲み取り、言葉かけを行い患者様に寄り添い心のこもった看護・介護が行える様に日々、職員間で研鑽に努めて行きたいと思えます。



沖縄セントラル病院
看護部 3階病棟 主任
具志堅 美雪

看護師12名、介護福祉士6名、介護職員5名、看護・介護で協働し、病棟内事故防止、病棟内感染防止に努め、患者様の療養生活の安全を守り、看護の質の向上を図り、質の良い看護の提供に努めています。

～ 部署のご紹介 ～

Department of 4F Nursing Convalescent rehabilitation ward 4階看護部(回復期リハビリテーション病棟)



病棟目標

- I. 安定した社会生活が送れるように支援する
 - 1) 機能回復、残存機能訓練を行い、ADL、QOLの向上、自宅復帰援助、介護負担軽減を図る
 - 2) 専門職が連携してチーム医療を推進する
- II. 5Sの推進（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）

業務概要

4階病棟は病床数57床の回復期リハビリテーション病棟です

4階病棟は病床数57床の回復期リハビリテーション病棟です。

病棟医、看護師、介護士、リハビリセラピスト、MSW、地域連携室、医事課、医師クラーク等他職種とチームを組んで入院から退院まで支援しています。

主な疾患は脳血管疾患・運動器・廃用症候群です。各疾患により入院期間は異なります。最大180日入院ができます。

急性期の治療を終え、自宅や社会に戻ってからの生活を少しでも元に近い状態に近づけるためのリハビリテーションを専門的に行っていますが、入院する患者さんが高齢なことから危険認知力が低いこともあり転倒、転落に注意を払ってケアを行っています。

看護師の役割について

リハビリ訓練だけでなく、起床時から就寝時までの間、食事、着替え、歯磨き、整容、入浴、排泄等と日常的動作も含めた生活そのものをリハビリと捉えたサービスが受けられます。夜間の排泄サービス時の補助などを含めた24時間手厚い看護が特徴です。



より良い在宅復帰を目指して

2016年回復期リハビリテーション病棟の看護必要度評価の見直しに伴い、日常生活機能評価得点・FIM得点を算出しこれによる効果を示していく事も課せられました。ADL/IADLのアップとFIM評価、日常生活機能評価表で、「できる」「できない」をしっかりと評価しできる所を伸ばすようにサポートし、本年度の病棟目標「安定した社会生活が送れるように支援する」に近づくようにカンファレンスを通し他職種との連携を図ります。患者は「こうなりたい」「退院したらこんなことしたい」と目標を描き、家族・スタッフは退院前に患者さんと一緒に家屋調査、介護保険申請、各種サービス調整を行い生活指導、各種処置等の技術を獲得し安心して自宅へ帰れるよう援助しています。



沖縄セントラル病院
看護部 4階病棟 主任
神谷 淳子

回復期病棟は、リハビリ以外でも糖尿病教育・気管吸引・内服指導などの看護と起床時から就寝時までの間、食事、着替え、歯磨き、整容、入浴、排泄等と日常的動作も含めた看護(介護)を提供し、患者、家族より評価を頂いています。今後も他職種とチームを組んで安心して自宅(施設)へ帰れるように患者個々に合わせたサービスを提供していきたいと思っています。

Clinic KIZUNA

クリニック絆

クリニック絆
ぎずな

診療時間

診療受付	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30	○	○	○	○	○	—	—
14:00～17:30	○	○	○	○	○	—	—

休診日 : 土曜、日曜、祝祭日
年末年始

診療科目: 内科

業務概要

スタッフは、友寄院長先生他、非常勤医師2名、看護師7名（常勤6名・パート1人）、受付1名で業務を担っています。

看護業務の内容として、外来受診対応、健康診断（特定健診・長寿健診・入居前健診）の他、入居者さまの定期内服薬の配薬の管理、経管栄養（現在7名）のケアなどを行っています。

入居者さま、ディサービス利用者さまの体調不良や転倒時など緊急対応（バイタルサイン測定から状態観察・家族さま、かかりつけ病院との受け入れ要請、救急搬送までの手配）経営母体であるセントラル病院や近隣の救急病院へ迅速に受診できるように対応をしています。

私たちは、看護職の専門性を活かして、自分たちがやるべきことを果たし、入居者さまの生活に寄り添い、地域に貢献できる看護を目指しています。

また、介護士、相談員の他職種の方々と連携、協働を図りながら、組織の運営に参画できるよう努めていきたいと思えます。さらに、地域の保健・医療・福祉機関と連携し、看護の継続性を推進していきたいと思えますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。



【 友寄院長 診察風景 】



【 外来患者さま 問診と血圧測定 】



台北 医学部実習生 施設見学

去る7月16日、県立沖縄看護大学さまからの施設見学依頼で、台北からの医学部実習生7名が来所しました。実習生の専攻部は、福祉部6名、看護部1名でした。施設見学では、儀間理事長代行から、施設の説明、日本における介護・支援の区分や入居者さまの現状などを英語で説明していただきました。学生からも入居者の介護区分率や介護の現状など積極的な質問がありました。施設見学後、ディサービスアミーゴで、利用者さまとの交流会を実施いたしました。



【 台北からの実習生 】



【 みんなノリノリ 】



【 【カチャーシー利用者さまと盛り上がり】 】



【 アミーゴの琉球舞踊ダンサー 】

感謝 ～ありがとうございます～

さて、当館の入居者数は、（令和元年9月12日現在）109名です。平均年齢は、88.6歳で、最高年齢者は、男性Yさん、女性Mさん、とも104歳です。長年にわたり、社会に尽くしてきた大先輩です。

Mさんは、いつも、笑顔で「いっぺー、にふえーでーびたい・・・。」と言って下さいます。その言葉を聴くたびに心あたたまります。

「にふえーでーびる」「ありがとう」は、言葉のやさしさ、ひびき、そこに込められた感謝の気持ち、それはなんと言っても最高の言葉だと思います。なぜなら、「ありがとう」という「感謝の気持ち」は、心の深い部分、ハートから来るものだからです。人は自分が認められたとき、人のために何かをして人から感謝されたとき大きな喜びと充実感を味わうことができます。

生きていることの喜びを感じる言葉、それが「ありがとう」だと思います。



一期一会
スタッフのみなさま
入居者さま
家族のみなさまとの
出会いを大切に・・・

外 来 担 当 医 師

■ 一般診療体制表

診療科	AM/PM	月	火	水	木	金	土
脳神経外科	A M	大 仲	大 仲	大 仲	大 仲	大 仲	大 仲
	P M	大 仲	大 仲	大 仲	大 仲	大 仲	大 仲
内科 1	A M	石 田	石 田	石 田	石 田	石 田	石 田
	P M		井 戸				大 仲
内科 2 (総合診療)	A M						
	P M	藤 倉		大 仲	藤 倉	藤 倉	
心療内科	A M	石津医師 完全予約制(不定期 月1~2回)					
	P M						
外科	A M						
	P M	長 島※1		長 島※1	下 地		
循環器内科	A M		鈴木(第2・4)	鈴 木			
	P M	鈴 木				鈴 木	
整形外科	A M	守 屋	大 仲	守 屋	守 屋	守 屋	琉 大
	P M	大 仲	大 仲	守 屋	守 屋	大 仲	守 屋
皮膚科	A M				琉 大		
	P M						
歯科	A M	當間・仲程	當間・仲程	當間・仲程	當間・仲程	當間・仲程	當間・仲程
	P M	當間・仲程	當間・仲程	當間・仲程		當間・仲程	

※1 外科・専門外来(乳腺外来・甲状腺外来・禁煙外来)

■ 特殊診療体制表

診療科	AM/PM	月	火	水	木	金	土
ガンマナイフ 治療・外来	A M					森(第2・4)	森(第2・4)
	P M					森(第2・4)	森(第2・4)
高気圧酸素治療	A M	大 仲	大 仲	大 仲	大 仲	大 仲	大 仲
	P M	大 仲	大 仲	大 仲	大 仲	大 仲	大 仲

■ 健康診断・精密検査

診療科	AM/PM	月	火	水	木	金	土
内視鏡検査	A M	長 島	長 島	長 島	下 地		琉 大
健診・人間ドック	A M	大仲・井戸	大仲・井戸	大仲・井戸	大仲・長島	大仲・井戸	大仲・井戸
乳がん検診	A M	長 島	長 島	長 島	長 島		
内科健診	A M	石 田	石 田	石 田	石 田	石 田	石 田
婦人科健診	A M	大 仲	大 仲	大 仲	大 仲	大 仲	大 仲

■ 受付時間 午前 8:30 ~ 12:30 午後 13:30 ~ 17:30

■ 診察時間 午前 9:00 ~ 13:00 午後 14:00 ~ 18:00

◆ ガンマナイフセンター

直通:(098)854-5516

◆ 医療福祉課

直通:(098)855-7200

◆ 健康管理センター

直通:(098)854-5541

◆ メディカルフィットネスセンター「フローゲン」

代表:(098)854-5511



寿仁会ホームページ
QRコード

●人間ドック ●脳ドック ●一般検診 ●特殊検診(航空身体検査・高気圧業務検査)

●健康増進サービス機関(厚生労働省認可) ●付属リハビリテーションセンター

発行人: 大仲 良一 編集: 地域医療対策広報委員会